

まってるすけ高柳

高柳の伝統を鯖石へ！子どもたちと学校と地域でつなぐ和紙の卒業証書づくり

門出和紙 小林抄吾

○本年度、高柳小学校と鯖石小学校の統合が行われましたが、学校関係者の方々のご尽力のおかげで、高柳小学校でこれまで行われていた門出和紙の卒業証書作りが鯖石小学校でも引き継がれることとなりました。元々和紙の卒業証書作りは旧門出小で始まった取り組みであり、それが旧高柳小に受け継がれて、現在まで行われてきたものです。

○そして今年の春、鯖石小へ旧高柳小の楮畑の一部移植が行われ、鯖石小での門出和紙の卒業証書作り元年の年を迎えることができました。和紙の原料である楮は、移植後、まともに収穫できるようになるまで2、3年はかかると言われていています。そのため、鯖石小の楮畑である程度の収量が確保できるようになるまで数年は旧高柳小の楮畑もそのままお世話することになりました。

○ここで大きな役割を果たしているのが、「高柳こども応援隊」のみなさんです。旧「高柳・地域でこどもを育てる会」のLINEグループから広がったものであり、高柳の子育てや学校支援に関する情報が常に共有されています。旧高柳小の楮畑の草取りや芽かき作業などで、人手がいる時に連絡すると、手の空いているメンバーが手伝いに来てくださるなど、非常にありがたい存在です。

○鯖石小の楮畑は現在、鯖石小の5、6年生を中心にお世話をしてもらっていますが、休み時間に楮の様子を見に来る子もいるらしく、少しずつ楮に対する興味を持ってきているようです。

○鯖石小と高柳との距離的な問題や、これまで楮という植物にふれあってこなかった鯖石地区の子どもたちにどう和紙の卒業証書作りの魅力を感じてもらうかなど、初年度はとりわけ試行錯誤の連続ですが。それでも、黒姫の水と八石の水が混ざりあい、高柳と鯖石の風土があわさった新しい卒業証書を子どもたちと一緒に作れるよう、これからも皆さんの助けを借りながら、何より自分自身が楽しみながら頑張っていきたいと思います。

○この記事を読んで「私も『高柳こども応援隊』に入りたい!」と思った方は、お気軽に小林抄吾までお問合せください。一緒に高柳のこどもたちを見守っていきましょう。



5月上旬。鯖石小学校の畑に全校児童で楮の植樹を行いました。



8月中旬の鯖石小学校の楮畑。



高柳こども応援隊による旧高柳小学校楮畑の芽かき作業。